

交付運用報告書

ユーロ・ボンド・ポート

追加型投信／海外／債券

第69期＜決算日2015年12月28日＞
第70期＜決算日2016年3月28日＞

作成対象期間：2015年9月29日～2016年3月28日

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「ユーロ・ボンド・ポート」は、2016年3月28日に第70期の決算を行いました。

当ファンドは、ユーロ建債券および英ポンド建債券を対象に、インカム・ゲインの確保およびキャピタル・ゲインの獲得をめざした運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

第70期末（2016年3月28日）

基準価額	9,106円
純資産総額	405百万円
第69期～第70期	
騰落率	△3.7%
分配金合計	70円

（注）騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

＜運用報告書に関するお問い合わせ先＞

☎コールセンター：0120-506-860

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、以下の方法により閲覧、ダウンロードいただけます。なお、運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

＜閲覧方法＞

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」等から「運用報告書一覧」⇒当ファンドのファンド名称を選択

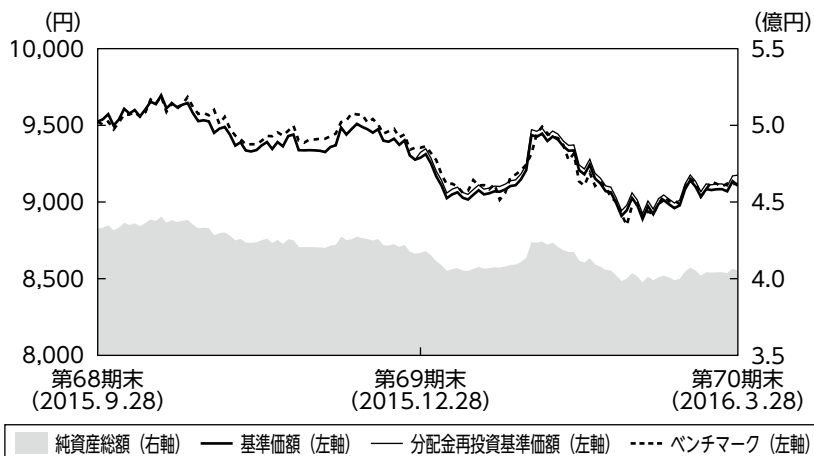
DIAMアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内3-3-1

(URL) <http://www.diam.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第69期首： 9,524円
 第70期末： 9,106円
 (既払分配金70円)
 騰落率： △3.7%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) ベンチマークはシティ欧州世界国債インデックス（円ベース）です。
- (注4) ベンチマークは期首の基準価額をもとに指数化しています。
- (注5) シティ欧州世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利はシティグループ・インデックスLLCに帰属します（以下同じ）。

基準価額の主な変動要因

世界的な景気減速懸念やECB（欧州中央銀行）の追加緩和期待などもあり、主要投資対象国の国債利回りが低下（価格は上昇）したことはプラスに寄与しましたが、作成期を通じてリスク回避的な動きとなり、為替市場でユーロや英ポンドが対円で下落したことがマイナスに寄与し、基準価額は下落しました。

1 万口当たりの費用明細

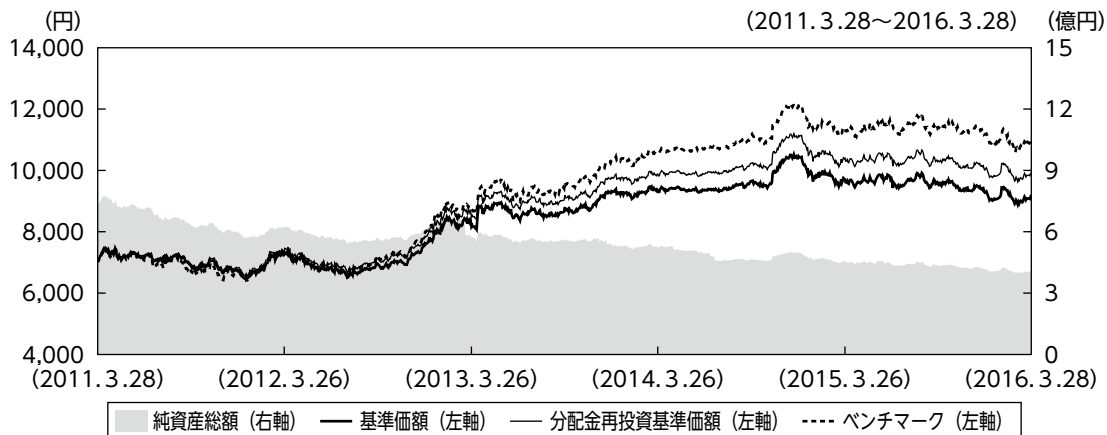
項目	第69期～第70期		項目の概要
	(2015年9月29日 ～2016年3月28日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	50円	0.537%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,291円です。 投信会社分は、委託した資金の運用の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、 口座内でのファンドの管理等の対価 受託銀行分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行 等の対価
(投信会社)	(25)	(0.268)	
(販売会社)	(22)	(0.242)	
(受託銀行)	(2)	(0.027)	
(b) その他費用	7	0.075	(b) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する諸費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(保管費用)	(7)	(0.072)	
(監査費用)	(0)	(0.002)	
合計	57	0.612	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、2011年3月28日の基準価額をもとに指数化したものです。
 (注2) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注3) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
 (注4) ベンチマークは期首の基準価額をもとに指数化しています。

	2011年3月28日 期首	2012年3月26日 決算日	2013年3月26日 決算日	2014年3月26日 決算日	2015年3月26日 決算日	2016年3月28日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	7,033	7,250	8,168	9,355	9,707	9,106
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	140	140	140	140	140
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	5.2	14.8	16.3	5.3	△4.8
ベンチマークの騰落率 (%)	—	4.3	19.1	20.7	8.0	△4.4
純資産総額 (百万円)	734	620	570	525	455	405

投資環境

主要投資対象国の国債利回りは低下しました。中国をはじめとする新興国の景気減速懸念、原油価格の下落、世界経済の先行きに対する不透明感の高まりなどを受けてリスク回避的な動きとなったことから、国債利回りは低下しやすい状況でした。2015年12月のECBの追加緩和策が市場の期待を下回るものとなり、国債利回りは一時的に上昇（価格は下落）しましたが、作成期の後半には再び追加緩和期待が高まり国債利回りは低下基調で推移しました。

為替市場では、主要通貨に対して円高が進行しました。中国の株式市場、為替市場の大幅な下落や原油価格の一段の下落によりリスク回避的な動きが強まり、安全資産として円が選好されました。2016年1月末の日銀の追加緩和後は一時的に円安が進行しましたが、効果は限定的でした。作成期末にかけては、ECBが追加緩和の打ち止めを示唆したことからユーロが反発しました。また英ポンドは、EU（欧州連合）離脱懸念が意識されたことが重石となりました。

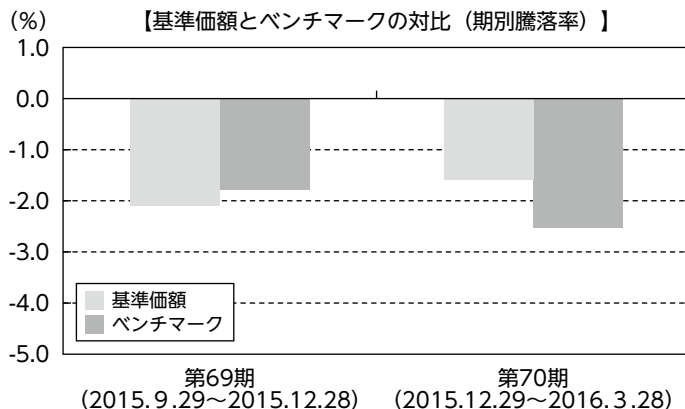
ポートフォリオについて

デュレーション（金利変動に対する債券価格の変動性）については、欧州全体の金利が低下するとの予想からユーロ圏の国債、英国債とも長めのポジションを概ね維持しました。通貨配分については、ユーロを多めに保有していましたが、英ポンドが大きく下落したタイミングではユーロを一部売却し英ポンドを買いました。作成期末時点では、引き続きユーロをベンチマークに対して多めに保有していません。

ベンチマークとの差異について

ベンチマークは前作成期末比で4.3%下落しました。

当ファンドはベンチマークを0.6%上回りました。英ポンドのアンダーウェイトやユーロのオーバーウェイト、更には英国のデュレーションを長めに維持したことがプラスに寄与しました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第69期	第70期
	2015年9月29日 ~2015年12月28日	2015年12月29日 ~2016年3月28日
当期分配金（税引前）	35円	35円
対基準価額比率	0.38%	0.38%
当期の収益	35円	35円
当期の収益以外	-	-
翌期繰越分配対象額	3,217	3,232

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

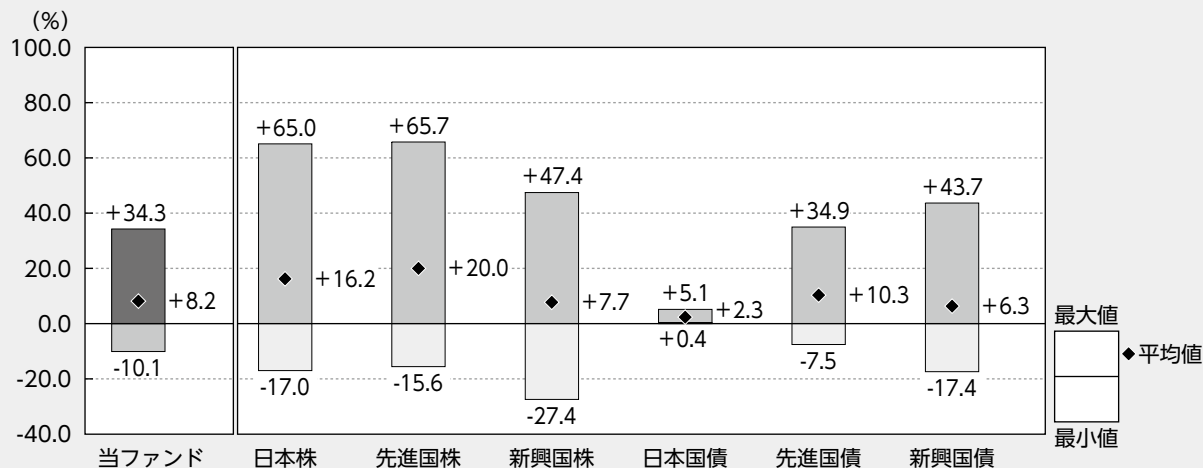
今後の運用方針

外国債券市場については、当面、国債利回りは低位で安定すると考えています。英国のEU離脱問題などを発端に国債利回りが上昇する可能性もありますが、その場合も国債利回りは再び低下基調で推移すると見えています。そのため、今後もユーロ圏の国債については、長めのデュレーションを維持した上で、英国については金利が上昇する局面でデュレーションの長期化を検討します。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	1998年9月30日から無期限です。
運用方針	インカム・ゲインの確保およびキャピタル・ゲインの獲得により信託財産の成長をはかることを目的として運用を行います。
主要投資対象	ユーロ建債券および英ポンド建債券を主要投資対象とします。
運用方法	シティ欧州世界国債インデックス（円ベース）をベンチマークとします。組入れる債券は、S & P社またはMoody's社から、短期債ではA 1ないしはPrime- 1、長期債ではA A-ないしはA a 3以上の格付けを有するものに限定します。外貨建資産の為替変動リスクについては、円高時の損失を限定すべく、必要に応じて弾力的にヘッジします。また、対円の為替ヘッジだけでなく、ユーロと英ポンド相互間の為替リスクを調整するための為替取引を行うことがあります。
組入制限	外貨建資産への投資には、制限を設けません。
分配方針	決算日（原則として3月、6月、9月および12月の各26日）に、経費控除後の利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等から、原則として基準価額水準にかかわらず、利子・配当等収益を分配する方針です。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないことがあります。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2011年3月～2016年2月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとして計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (円ベース、配当込み)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (円ベース、配当込み)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。

●「東証株価指数 (TOPIX)」は、株式会社東京証券取引所 (株東京証券取引所) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株東京証券取引所)が有しています。なお、本商品は、(株東京証券取引所)により提供、保証又は販売されるものではなく、(株東京証券取引所)は、ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

●「MSCIコクサイ・インデックス」「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が公表しているインデックスで、当指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に属しており、また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

●「シティ世界国債インデックス」に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はシティグループ・インデックスLLCに帰属します。

●「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド」に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容

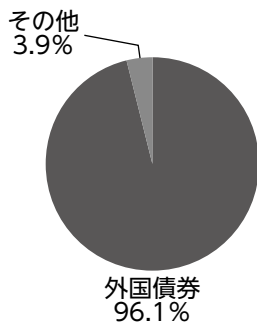
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
FRANCE OAT 8.25 04/25/22	ユーロ	18.8%
DEUTSCHLAND 5.5 01/04/31	ユーロ	18.7
DEUTSCHLAND 3.25 01/04/20	ユーロ	11.4
DEUTSCHLAND 4.0 01/04/18	ユーロ	8.1
UK TREASURY 4.75 12/07/38	イギリス・ポンド	7.4
FRANCE OAT 5.75 10/25/32	ユーロ	6.7
FRANCE OAT 3.75 04/25/17	ユーロ	5.5
NETHERLANDS 2.0 07/15/24	ユーロ	5.4
FRANCE OAT 4.0 10/25/38	ユーロ	5.0
DEUTSCHLAND 4.75 07/04/28	ユーロ	4.8
組入銘柄数	11銘柄	

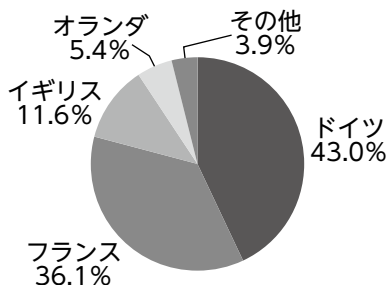
(注1) 比率は第70期末における純資産総額に対する組入有価証券評価額の割合です。

(注2) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

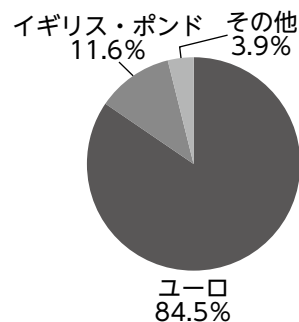
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は第70期末における純資産総額に対する組入有価証券評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

純資産等

項目	第69期末	第70期末
	2015年12月28日	2016年3月28日
純資産総額	416,917,229円	405,259,008円
受益権総口数	448,815,183口	445,031,815口
1万口当たり基準価額	9,289円	9,106円

(注) 当作成期間（第69期～第70期）中における追加設定元本額は2,098,548円、同解約元本額は11,250,876円です。